

スマート農業イノベーション 推進会議(IPCSA/イプサ)の 活動紹介

2025年12月5日

スマート農業イノベーション推進会議(IPCSA)事務局

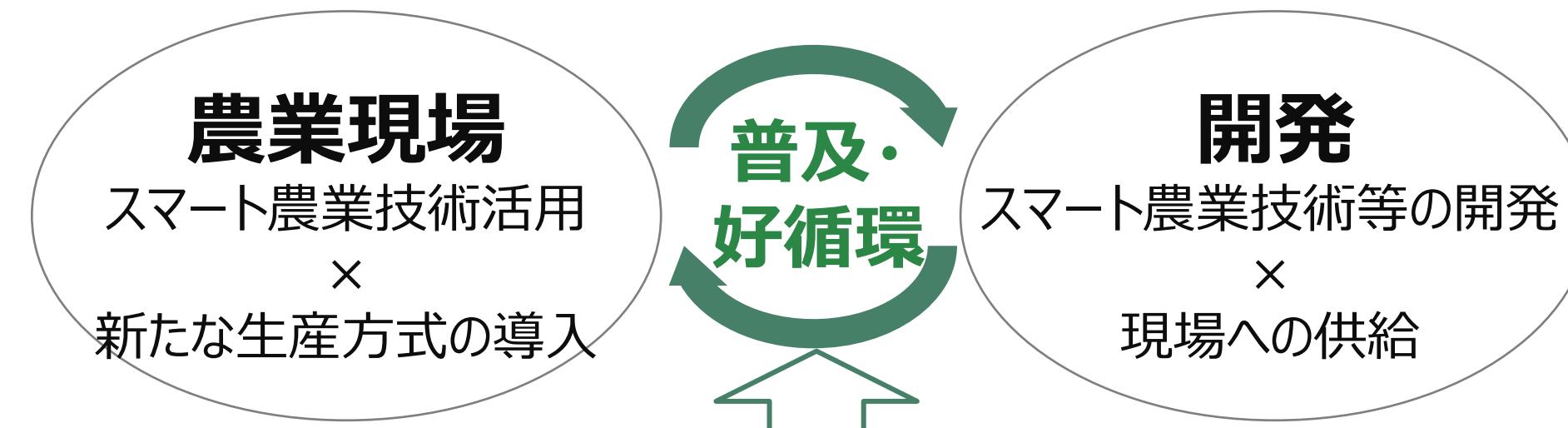


農研機構

農林水産省

スマート農業イノベーション推進会議（IPCSA）の役割

- スマート農業技術促進法及び基本方針に基づき、スマート農業技術の**開発と普及の好循環の形成を推進**していくため、スマート農業イノベーション推進会議（IPCSA）を設置。
- 情報の収集・発信・共有、関係者間のマッチング支援、人材育成等を通じ、コミュニティ形成を促進することとしており、令和7年度より本格的に活動を開始。



スマート農業イノベーション推進会議の役割

①情報の収集
・共有・発信

②関係者間の
マッチング

③人材の育成

④技術的な
検討

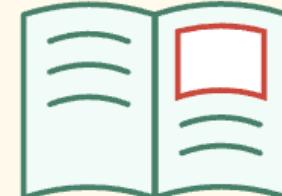
IPCSAの主な活動内容

01 情報の収集・共有・発信

- 専用サイトでスマート農業に関する最新の情報を発信
- 国内外の技術動向、スマート農業技術による経営効果などの独自調査を実施



専用サイトで
情報発信



国内外の技術動向
等の調査の実施

02 関係者間のマッチング

- 各種イベントによる交流・マッチングの機会づくり
- 専用サイトで会員間のコミュニティ形成を促進



各種イベントの
実施



サービス
紹介
サービス事業者
会員プロフ



研究紹介
生産者団体
研究機関

専用サイトでの
会員間マッチング

11/19にリース！

IPCSAの主な活動内容

03

人材の育成

- スマート農業技術を使いこなせる人材の育成に寄与する研修情報の発信、モデル的な研修の実施



内容・
テーマを
設定

全国各地の
研修情報の
整理・提供

IPCSA独自のモデル的な
研修を実施



【テーマ・内容案】

- スマート農業技術の有効活用による経営改善ノウハウ
- スマート農業技術に適した新たな生産方式の導入

04

技術的な検討

- スマート農業技術活用に意欲的な農業者を中心に、課題解決に向けた議論・検討の場を設置

プラットフォーム

【営農類型ごとの農業者を中心に設置し、
課題や技術開発・普及等について検討】

水田作

畑作

露地野菜・
花き作

果樹・茶作

施設野菜
・花き作

畜産・酪農

検討会

【プラットフォームの
枠を超えて対応す
べき議題を議論】



会員限定ページでできること

①会員プロフィール情報掲載、検索

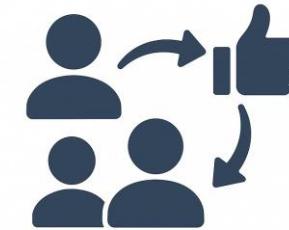
ご自身のプロフィール情報の公開や、他の会員のプロフィール情報を検索することができます。



会員プロフィール
掲載と検索

②おすすめ会員のサジェスト

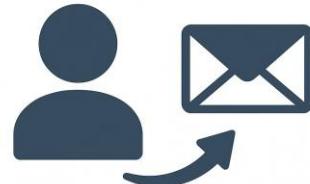
所在地や、関心のある農業技術、営農類型の情報を元に、ランダムにおすすめが表示されます。



おすすめ会員の
サジェスト

③気になる会員へのお問い合わせ

気になる会員のプロフィール詳細が閲覧可能で、会員に問い合わせメールを直接送ることが可能です。



気になる会員への
問い合わせメール送信

④事業提案募集

他の会員から事業提案や情報を募集することができ、自ら募集をしたり、募集情報を閲覧・検索することができます。



事業提案の募集

(例) プロフィール情報

IPCSA スマート農業イノベーション
推進会議

ダッシュボード

法人

農研機構／スマート農業施設供用推進プロジェクト室

ノウケンキコウ

事業提案

設定

■ 基本情報

所在地

茨城県

業種

研究機関

法人形態

国立研究開発法人：(国研)

ウェブサイト

<https://www.naro.go.jp/collab/sappo/index.html>

■ スマート農業技術

興味を持っている
スマート農業技術

営農管理システム
ドローン

導入しているスマ
ート農業技術

食味・収量センサー付きコンバイン
自動走行トラクター
ほ場水管理システム

IPCSA スマート農業イノベーション
推進会議

ダッシュボード

実績等（今後の予定も含む）

会員検索・会員一覧

実績等（今後の予定も含む）

園場内の実証
共同研究
観察、見学対応
スマート農業関係の講師

事業提案

設定

■ マッチング希望

マッチングの希望
の有無

有

マッチングの希望

スマート農業普及のために、農研機構の研究施設等の供用や専門家派遣等を要望している相手とのマッチング。

アピールポイント

農研機構は、わが国の農業と食品産業の発展のため、基礎から応用まで幅広い分野で研究を行う機関です。職員数3200名（正職員のみ）の、この分野ではわが国最大の研究機関です。全国各地に研究拠点を配置して研究活動を行っています。

ご興味をお持ちの方は
こちらからご連絡ください／

お問い合わせする

(例) 事業提案

ダッシュボード

会員検索・会員一覧

事業提案

事業提案一覧

新規投稿

設定

農研機構のスマート農業施設を利用しませんか？～あなたのお困りごとをサポートします！～

農研機構／スマート農業施設供用推進プロジェクト室

業種

研究機関

事業概要

スマート農業技術活用促進法律に基づき、農林水産省から計画の認定を受けた方は、農研機構のほ場やスマート農機などをご利用いただくことができます。北は北海道から南は九州まで、全国各地の拠点ではほ場、スマート農機等をご準備しています。

また、農研機構の専門家の派遣、ほ場での作物の栽培管理の代行など、ご要望に合わせて必要な協力も行います。利用者を随時募集していますので、ご興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

詳しくは下記のHPをご覧ください。

<https://www.naro.go.jp/collab/sappo/index.html>

農研機構では、共同研究や有償技術相談など様々な産学官連携の取組を行っています。最適なご支援についてご提案いたしますので、お気軽にご相談ください。

必須スキル

開発供給実施計画の認定事業者（認定取得に向けたサポートもいたします）

応募期日

2028/03/31 16:11

関連資料

[農研機構 施設供用の取組紹介.pdf](#)

備考

まずはお気軽にお問い合わせください。

<https://www.naro.go.jp/collab/sappo/index.html>

応募する

IPCSAブース展示のご紹介

①農機の操縦体験



農業シミュレーションゲームを用いて田植え機等の農機の操作体験ができます。

また、直進アシストや自動操縦等のスマート農業技術を疑似的に体験することも可能です。

②ドローンの操作体験



MR技術（現実空間にデジタル情報を重ね合わせる技術）を用いてドローンの操縦体験ができます。スマートグラスを装着し、ドローンをその場で飛ばしているかのような体験が可能です。

**ご清聴ありがとうございました。
是非IPCSAブースにお越しください。**
